

時野谷茂教授の御退職に寄せて

会津大学短期大学部産業情報学科長 石 光 真

時野谷茂先生は1976年3月に早稲田大学理工学部建築学科を卒業後、実務経験を経て、東京大学生産技術研究所に研究生として在籍し、その後、東京大学大学院工学系研究課程修士課程に進学され、工学修士を取得されました。修士課程修了後は、聚建築研究所において、一級建築士として、また代表・代表取締役としてご活躍されました。そして、1989年1月に、福島県立会津短期大学デザイン科助教授として着任されました。本学では、1993年の会津大学コンピュータ理工学部の創設に伴う会津短期大学・学科再編において、牧田和久先生（会津大学短期大学部名誉教授）とともに、精力的にご尽力いただき、現在の会津大学短期大学部の基盤を築いてくださいました。さらには、2003年に教授にご昇任され、以来、附属図書館長（4年間）、産業情報学科長（6年間）など数多くの重責を担われました。2013年4月に会津大学短期大学部長に就任されてからは、幼児教育学科の新設や短期大学認証評価の受審などにおいて学部長としての職責を果たしていただきました。学会活動では、日本建築学会、日本デザイン学会に所属し、また日本建築学会主催設計競技入賞や東北建築賞作品賞佳作を受賞されておられます。社会活動に関しては、福島県や県内の各地方自治体における審査会や委員会等において、委員、委員長、座長、会長として、公共施設の建築やまちづくりなどの地域特有の事案に携わってこられました。さらには、大学設置・大学法人審議会大学設置分科会委員や全国公立大学短期大学協会理事・副会長を務められ、ご貢献は学内だけにとどまるものではありません。

研究者としての時野谷先生は、建築デザイン・工業デザインを専門分野として、多くの著書や研究論文、報告書など精力的なご研究成果を積み重ねてこられました。また、教育活動に関しては、日頃の授業やゼミナール活動において、時には優しく時には厳しく履修生やゼミ生をご指導され、先生の実務経験に基づく実践的な視点が多くの学生の視野を広げ、また実行力を育てたことと存じております。

先生には定年退職後も非常勤講師として、本学産業情報学科において講義をご担当いただけると伺っております。これからも、精力的に教育活動や研究活動をお続けになられることと思いますが、ご自愛のうえ、ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

結びになりますが、時野谷先生の長年にわたるご功績に敬意を表しますとともに、本学におけるご貢献に心より感謝申し上げます。